

二町内の自治会新聞

平成二十四年度の反省

平成二十四年度は、二町内にとつて記念すべき年であったと思います。校区大運動会では二連覇を果たしました。前回の優勝がまぐれでなかった事が証明できました。

子ども会、若いお父さんお母さん、そして老社会の三世代が巧く連携ができた事が結果に繋がったものと思います。

町づくりにとつて最も大切なことは、町内の皆さんが共通の目標(夢)をもつて、話し合い汗を流すことではないでしょうか。町内のために三世代が協働する社会は、まだ完璧ではありませんがわが町内では、ボランティア委員会を中心に力強く前進していることは確かだと思えます。

子ども達の安全については、子どもを守る会のお爺ちゃんお婆ちゃんが子ども達のために頑張っています。

小学生、中学生の部活動生徒の安全は、青パト隊の皆さんが青色点滅灯を照らしながらパトロールしています。

この様にわが町内は、子ども達にとつても素晴らしい環境を作り出していると思います。

子どもは、良い環境で育つと云います。皆で協力して良い町づくりを協力下さい。

現在 ボランティア委員が中心になってリサイクル活動が行われています。子ども達がメガホンをもって広報活動を行い、お父さん方が資源ゴミの回収に回っています。

しかも公民館の増築のため現役のお父さん方が毎週日曜日午前八時に公園に集まり、ボランティア活動を行っております。寄付金や町内会費を

事務局 村上徹郎
TEL 368-5348
住所 健軍本町 26-3

上げずに済むように自分の奉仕作業で補助うとしていきます。なんと素晴らしいことでしょうか。それに協力する子ども達のコラボレーションは、町づくりの模範だと思えます。この姿を目にするときは是非実現させてやりたい気持ちになります。

子どもたちやお父さん方の頑張りにも拘らず一年間の報酬は、気の毒なくらい低い結果に終わりました。この様なことでは、十年経つても公民館の増築は無理です。

その原因の一つは、町内の皆さんへの広報活動が足りなかったことそして、は資源価格が極端に下がったことが原因だと思えます。

反省として、二町内のリサイクルは、日曜日と言つ事を全ての皆さんに認知して頂き、協力して頂く事だと思えます。

月曜日と水曜日の資源ゴミを日曜日に絞ってゴミステーションに出して

下さい。

ビン類 一升ビンとビール瓶
缶類は、アルミ缶とスチール缶

紙類は、新聞紙とチラシ、本・雑誌一般の紙、段ボール

その他 鍋、自転車(大人用) 古着等

今年度の重点課題

一、前年度の反省に基づき、町内リサイクル活動を重点課題の一番に挙げて、町内の皆さんの全面的な協力をお願いしたいと存じます。

子ども会の広報活動での参加 昨年も大活躍で大変良かったと思えます。しかし役員さんの子ども達が中心でした。

中学生の参加もお願いしましたが連絡が巧く行かなかつたようですね。

小学生、中学生合計すれば約四百名になりました。日曜日の朝自分の家庭の資源ゴミをゴミステーションに運んで下さい。

時間にして十分もかからないと思えます。ただそれだけのことで今年

ル活動ができます。小中学生の皆さんの参加を大いに期待して居ります。

リサイクル活動に協力できるお父さんお母さんを募集しています。日曜日の朝八時頃公園に来て下さい。

二、ゴミステーションの当番制

十五か所あるゴミステーションの八割方は、当番制でゴミの管理をやっております。後の二割がボランティアに頼っております。ゴミの問題は、皆の問題です。皆で汗を流すことが大切ですね。担当の自治会の理事から話があった場合ご協力をお願いいたします。

四月より公園清掃開始

第一日曜日(七日)七時より始まります。仕事の内容は、花壇の草取りと清掃活動です。家族お揃いでお出下さい。

二町内自治会総会

一、期日 四月二十一日(日曜日)
二、場所 三津野建設多目的ホール
参加される人、団体

各種団体

老社会、民生委員、たけみやサロン、子ども会(A、B、C) 地区生徒会(湖東中、錦ヶ丘中) 社会福祉協議会、体協 夏祭り実行委員会

ボランティア委員会 I-T委員会等

平成二十四年度の隣保組長さんは総会前までに新組長さんとの引き継ぎを済ませておいて下さい

子どもを守る会(若狭分科)

平成十七年七月十一日自治会館に於いて結成式を挙げて八年の歳月が流れました。会員の皆様には、「地域の子どもは、地域で守る」をキャッチフレーズに頑張ってきました。

冬の寒い日、夏の暑い日ほんとに「苦勞様」でした。しかし会員の高齢化も進んでおり、現在お二人が闘病で休んでおられます。この様な方々が安心して休まれるように若い世代参加が望まれます。子ども会、地区生徒会の若い保護者の皆さんにもその一端を担ってほしいと思えます。